

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>岐阜市の保育理念「子どもの最善の利益の保障」「子どもにとって最もふさわしい生活の場の保障」「家庭援助や地域における支援の促進」が明文化され、理念に基づく基本方針として、「子どもの発達援助」「子育て支援」「地域の住民や関係機関との連携」「運営管理」の4本柱を掲げ、明文化している。さらに当保育所の特色「緑豊かな広々とした園庭」「自分や周りの人を大切に作る心」「試したり、工夫したりする意欲」「健康で生き生きと体を動かす力」を育む保育を行っており、保育目標「健康な心と体を作る力」「人や物と関わる力」「言葉で伝えあう力」「感性豊かに工夫し表現する力」が明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、新年度初めに全職員に配付し、勤務時間に合わせて行う職員間での読み合せや職員会議等での話し合いを通して周知徹底を図っている。</p> <p>利用者等への周知については、理念・基本方針・保育目標を玄関や廊下等の見やすい場所に分かりやすく掲示している。また保育所案内やパンフレットに記載し、入所式や懇談会の際に保護者にわかりやすく説明する等して周知に努めている。また、地域の方々への周知については、子育て支援事業等の機会に説明する場を設けて周知に努め、公民館、コミュニティセンター、児童館等関係機関にもパンフレットを置いている。とりわけ、所長が社会福祉協議会や家庭部会の委員でもあり、また地域の種々の会合にも参加しているので、地域へも同様の資料を配布して広く周知を図っている。</p>		

改善できる点／改善方法：

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については、市・岐阜市公立保育研究会等で検討され、「保育・教育の充実」「食育の推進」「よりよい地域との連携をめざす」「安全で安心できる保育所運営」「施設整備」を重点化した計画を策定している。それを踏まえて「保育内容」「職員研修」「地域交流」「ヒヤリハットによる自己リスクの軽減」「施設整備」の5つの方針を明確にし、保育所はそれを踏まえて総合的・合理的な事業計画を策定し、予算の下で運営している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>計画の策定については、前年度の課題を踏まえて、職員会議で課題分析を行っている。計画の達成状況の把握や評価を行い、次の計画に反映させている。計画の職員への周知は、全職員に文書配布を行い、職員会議で説明して周知を図っている。</p> <p>保護者には、懇談会や会合等の機会を捉えて、1年の取り組みを身近に感じ、共に取り組んでもらえるよう説明している。また所内掲示を行う等して周知を図っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C

I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>所長はその役割と責任を職務分掌表において明らかにし、職員会議や職員面談の際など機会あるごとに考えを表明している。また、管理者として判断し、責任を持つという考えを持ち、自分が全てを決めてしまわないよう協調型リーダーとして、理念に基づいた方向性を職員に示し、相談をしながら運営に当たっている。法令遵守や関係法令研修に積極的に参加し、職員会議や職場内研修などで職員周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。		Ⓐ・B・C
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。		Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>所長は理念・基本方針に基づき、保育の質・職員の質の向上のためには、職員が意見を自由に語り、話すことができる職場であることが第一であると考え、職員の意見に傾聴し、活発に意見交換ができるような環境作りに努めている。「認め合う」「楽しい」「良いところを紹介し合う」を職場作りのねらいとし、休憩室には思いやエピソード、楽しかったこと等を自由に記入する「スケッチブック」を置いて職員間で共有するなど業務意欲を高めるよう工夫している。経営や業務の効率化については、業務の検討をしながら効率的なコスト管理に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。		Ⓐ・B・C
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。		Ⓐ・B・C

II-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業関係の動向については、「ぜんほきょう(全国社会福祉協議会発行)」「保育士会だより」等の各種専門誌の購読や所長研修・園外研修等の受講に努め、また市担当課、関係機関、地域団体と連携し、各種の情報収集に努め、全職員に周知を図っている。各種行事等での保護者アンケート、懇談会、保護者役員会での会談等での意見の汲み上げや園庭開放、子育て支援事業等の実施を通して保護者や地域の未就園児等のニーズの把握に努め、職員間で課題分析を行い、次年度の事業計画に反映させている。また、消耗品の計画的購入や光熱水費の節約に心がけている。在庫がわかりやすく整理整頓されている。ボランティアの活用や地域資源を活用することで経費削減をしている。予算の効率的な執行と適正な保育所運営に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・B・C
II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>必要な人材に関する具体的なプランについては、事業計画に「専門性向上のための研修実施」として位置づけられており、職員の教育研修に力を入れている。自己評価研修、所内研修、子ども・子育て新制度に向けた研修等を行い、客観的な基準(人事考課マニュアル)に基づき、目標管理制度による人事考課を実施している。年3回の面談を行い、職員の意欲を高めるように留意しつつフィードバックを行い、人事の透明性を高めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・B・C
II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の就業状況や有給休暇の取得状況をチェックし、正規・非正規職員とも全員の年3回の面談や日常業務の中で、職員の意向を把握しており、休暇も保育に支障がない限り積極的に取得できるよう勧め、休暇が取りやすいよう配慮している。職員が相談しやすいよう心がけるとともに、保育所内に限らず、外部の職員の健康相談窓口</p>	

<p>の紹介を文書で回覧し、周知している。</p> <p>また所長はメンタルヘルスにも関心を持ち、研修を受けている。福利厚生情報は回覧し、情報提供に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>	
<p>Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中長期計画や事業計画に「職員の資質向上」「専門性の向上のための研修実施」が位置づけられ、正規、臨時、嘱託職員の全職員が受講可能な研修計画を作成している。所長・副所長が個別に職員の能力を把握し、本人と話し合い、経験年数に応じてキャリアアップを狙った研修に参加できるよう配慮している。また研修終了後に研修成果の分析や個別評価を行い、キャリアアップに役立てている。また研修の内容を職員会議で報告し、回覧して全職員で共有をしている。研修の成果を業務に活かすべく職員会議で検討・指導し、実践につなげている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育の学生だけではなく看護学生も受け入れており、実習生の数は多い。実習生受け入れの意義や方針が明確であり、様々な工夫のもとで職員にも学びがあるよう指導の振り返りを行い、事前事後に検討会を持ち、組織全体で知識向上の機会とするなど明確な目的を持って受け入れようとする体制がある。また各養成校と連携しながら、実習生の受け入れを行っている。実習生からの意見を聞き取り、受け入れ側として共に成長したいという思いがある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
Ⅱ－３－（１）－①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－３－（１）－③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>所長の指揮下のもと、健康保持や安全確保の取り組みが行われている。役割分担があり責任が明確になっている。子どもの安全な環境は保育の実践基盤であることを職員全員に意識させるため、定期的な遊具・建物の点検、感染症予防のヒヤリハット注意報の発表など等常に報告できる体制やヒヤリハット事例の検討を通して職員間で話し合える環境づくりに努めている。また防災マニュアルも整備されており、避難訓練も定期的に行われている。備蓄のリストもあり、毎月持ち出しの袋の点検も行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（１）－①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（１）－③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>当該地区は保育所の活動にとっても協力的な地域であり、保育所と地域住民との交流が継続的に行われている。交流の意義・方針を年度初めに確認し合い、年間計画に地域との交流を取り入れ、サッカー教室、絵本読み聞かせ、手話教室等を地域のボランティアの協力により開催している。子どもは地域行事にも参加し、所長は地域の関連会議に積極的に出席する等地域交流を深め、情報を発信している。園庭開放、図書の貸し出し、子育て相談や地域の子育てサロンへの出向等による保育所の機能を還元している。</p>		

改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。	
Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>小学校、社会福祉協議会、医療機関、保健センター、子ども・若者総合支援センター、主任児童委員等必要な社会資源をリスト化し、回覧する等常時閲覧可能な状態にしている。小学校、保健師、主任児童委員や家庭相談員、幼児支援教室等と連携がとれており、ケース検討や情報の共有、意見交換を実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の委員会や団体との会合に出席して情報交換を行い、ニーズの把握に努めている。また主任児童委員、保健師との意見交換、園庭開放、子育て相談等での意見聴取やアンケート調査の中から地域へ還元できる事業を検討し、地域へ出向しての出前相談や親子ふれあい遊び、子育てサロン等の支援を実施している。地域に開かれた保育所として図書の貸し出しや行事の紹介を掲示するなど、地域の人々が保育所に気軽に出入りしやすいよう工夫している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 子どもは、どの子も一人ひとり大切な存在であり、大切にされていることが実感できる保育所であることを基本として、理念、基本方針、保育目標を踏まえて指導計画を作成し、「子どもの最善の利益」を常に追求しながら子どもの人権や主体性を尊重した保育に心がけている。職員会議や研修等で人権や保育士倫理綱領、虐待防止等について学びを深めている。プライバシー保護についてもマニュアルを整備し、職員会議での話し合いを通して子どもや保護者のプライバシー保護に関する職員の意識を高めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 行事ごとのアンケート、懇談会、普段の声かけ実践等を通して保護者の意向を把握し、保育の改善課題の評価・分析を実施し、改善する取り組みを行っている。アンケートについては結果をまとめ、職員会議で検討し、改善策までを文書にして「報告書」として配布し、フィードバックしている。保護者役員会でも意見交換がなされている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 意見箱を玄関に設置し、苦情相談窓口の担当者、責任者を明記した案内を分かりやすく記載して掲示し、お便りや懇談会等でも受付について案内している。保護者から出された意見は貴重な意見として捉え、職員会議で検討、迅速に対応し、内容によっては文書で公表している。相談しやすいように声かけを積極的に行なったり、事務室のドアは開放し、いつでも出入りができるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育の質について、第三者評価ガイドラインに基づいて定期的に自己評価を行い、課題・ニーズを把握し、改善に努めている。PDCAのサイクルを継続して実施している。個々の保育士の評価を集約し、保育所全体で検討している。所内公開保育や合同公開保育、保育所部会公開保育にも積極的に取り組み、ふりかえりを行いながら質の向上を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法について、個々のサービスに応じた各種マニュアルを作成し、職員周知に努めている。また岐阜市と保育所部会で作成されている標準的な実施方法「発達過程と保育の内容」「発達に沿った教材及び援助のポイント」があり、保育所の立地状況や地域、保育所の特色から検討された保育課程に基づき、子どもの発達を捉えて指導計画を作成し、保育を実施している。年間計画は、年1回の見直しと期別ごとの評価見直しを行い、月案は月1回、週案・個別指導計画は随時評価見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		

Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： サービス実施の記録については、子どもの発達状況、生活状況、保育目標等を「個別記録」に時系列に記載し、エピソードや経過を記載している。所長、副所長、リーダーが記録に差異を生じないように指導している。記録の保管についての規程があり、文書管理について詳細に管理方法が決められている。職員会議の中で各クラスの状況報告を行い、問題があれば検討している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1)	サービス提供の開始が適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・B・C
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保育の内容等がわかりやすく説明された印刷物が作成され、市のホームページでの紹介や希望があれば見学も可能であり、利用希望者に必要な情報提供がなされ、選択ができるようになっている。保育所の案内を公民館、児童センター、コミュニティーセンター等に置き、地域へも各家庭に紹介する案内を配布している。入所にあたっては「保育所入所案内」を渡し、必要な準備、持ち物、生活の紹介等分かりやすく工夫した資料で説明している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの	Ⓐ・B・C

	継続性に配慮した対応を行っている。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市内の保育所への転所の際は、個別記録書類を申し送り、保育の継続性に配慮している。就学児については入学する小学校に市統一の保育所児童保育要録を送付し、就学にあたって保育所から小学校へ子どもの成長について引き継いでいけるよう配慮している。保育終了時にその後も相談が可能であることを説明し、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市で統一されたアセスメント様式(家庭調査記録、健康診断票、生育歴記録等)を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。子ども一人ひとりのニーズをアンケート、入所時の面談、保護者懇談会の実施、送迎時の声かけ、連絡帳のやり取り等で把握している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定は、アセスメントに基づいて子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保育課程に基づき、地域性や保護者の意向を踏まえて、職員会議で話し合い、指導計画を作成している。指導計画は、職員会議で定期的に評価分析を行い、見直しを行っている。個別の指導計画の見直しは各クラス担任が話し合い、一人ひとりの発達把握や理解を深め、翌月の計画作成に活かしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育課程は市の保育所保育課程に基づき編成され、いつでも取り出せるようにポケットサイズにして身につけ常に携帯している。自己評価の際に職員同士で読み合ったり、意識づけを行っている。計画はできる限り全職員が参加することとし、参加できない場合は、意見を聞く機会を作る等して策定にあたっている。理念、目標は保護者にも常に目に入る所に掲示している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>乳児室は園舎の南面にあり、日当たりが良く明るく、かつ非常時にはいち早く戸外に連れ出すことができる場所に位置している。また室内には職員手作りの遊具が発達年齢に合わせて整えられている等良い環境作りがされている。また看護師が常勤しているので、健康・安全面でも十分に行き届いた援助が行われている。離乳食について前期～後期の食事図が調乳室前に掲示され、わかりやすく理解できる工夫がされている。SIDSについて看護師がマニュアルに基づき講習を行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>発達の個人差が大きいこの時期には、保護者からの情報を毎日聞き取り、子ども一人ひとりを大切にしながら安全面に配慮し、基本的な生活習慣を身につけるよう個別の保育を行っている。そして子どもの主体性を大切にしたい援助を目指そうと取り組んだのが環境づくりで、洗濯バサミを使ったおもちゃやままごと遊びの道具等、子どもたちが自由に遊びを広げていける人的・物的環境が整備されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>24年度から26年度までの保育研究会のテーマにおける担当保育所として「運動遊び」を取り入れてきた。そしてルールのある遊びで育つ・協力・約束を守ることの大切さ、思いやり等「運動遊び」を通じて育ててきた。その成果として体力の向上・がんばる力・達成感等が見られるようになった。また保護者には子どもたちの日頃の活動を写真や掲示物で常に伝えている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>小学校が遠方なので2年の小学生がスクールバスで交流に訪れている。11月は戸外遊びを行い、12月は2年生が手づくりの遊具を持参して年長児と遊ぶ等して小学校が親近感を持って身近に感じられるような機会を作っている。夏休みになると小学校の教諭が体験学習に訪れ、小学校のお話を聞くこともできる。就学前には希望する保護者と個別面談を行い、子どもと保護者共に安心して就学を迎えられるように配慮している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	A・(B)・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育室は明るく、やわらかな色彩に留意した室内飾りが多く、ホッとする環境づくりがされている。また机、椅子、遊具等は牛乳パックやダンボール、新聞紙等日常生活の中にある材料を用い、職員が工夫を凝らした手づくり作品が豊富にある。各保育室は遊びのコーナーが作られ、お店屋さんごっこやままごと遊びが自由にできるよう配慮されている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p> <p>廊下には多くの絵本が並ぶ本棚があった。日が当たるとのことでカーテンで囲ってあったが、もっとスペースを広くし、絵本を見るコーナーを作り、子どもたちが身近に絵本と触れることができるような環境づくりに向けた取り組みに期待したい。園庭開放で来訪された人も絵本を落ち着いて子どもと見ることができる空間があれば、天候の悪い時にも利用できると思う。</p>	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>基本的な生活習慣を習得できるよう綿密な指導計画を策定し、一歩前を見通した指導が実施されている。毎日の「元気っ子会」には保育所での生活に大切な約束ごとを守り、自分でやろうとする気持ちを育てるようにしている。その子の発達を大切に運動遊びを年間を通して楽しんでいる。園庭が広く、南面を走る名鉄電車と競争して走る光景が見られる等、のびのびと身体を動かして活動できる環境である。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>発達段階に応じた活動ができるよう職員の手作りお遊びコーナーを各種用意し、子どもたちの主体的な活動を後押ししている。午前中は各年齢ごと活動をするが、午後は自由保育になり、自由に他のクラスに入って遊ぶことができる。年長児になると当番の子は今日の給食のポイントを調理員から聞き、給食時間に各保育室を訪れ、ポイントになる食材のことを伝えて歩く。またランチにはAランチ、Bランチを選び、好きな場所で食事を楽しんでいる。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域と密着した保育所であり、地域行事に参加できる機会が多く、近隣保育所との交流もある。また「ふれあい遊び」では地域のお年寄りの会と交流したり、地域の人やJAの協力で夏野菜や玉ねぎ、さつまいも等作っている。園庭開放利用者には、例えば子どものしつけやトイレトレーニング等について印刷物で知らせる等育児のアドバイスをを行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>絵本の読み聞かせは、月1回ボランティアで各クラス順番に入ってもらっている。またボランティアの「英語で遊ぼう」等の体験学習で楽しく言語を学んだり、敬老会で歌やリズム遊びを発表する等、様々な人の前で表現活動をしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>自己評価ガイドラインを活用して毎年2回以上の自己評価に取り組んでいる。またヒヤリハットやケース会議による研修や市内4保育所の公開保育、市保協主催の研修等、各種研修機会を通して、問題点や課題を話し合い、共通認識の育成と意識の向上に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>担任とフリーの保育士が保護者に子どもの今日のエピソード等を伝え、保育所での生活や子どもの発達の状況を細かく伝えている。特に未満児については連絡帳で家庭での様子を把握し、理解を深めて保育に反映させている。未満児の職員は子育て経験のある保育士が多く、保護者の良き相談相手になっている。職員は子どもの様子を周知し、共通した援助ができるよう努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 年長の障がい児には、ひと月の活動と今日の活動をカレンダーや表で本人にわかりやすい位置に掲示する等、視覚に訴える方法も活用している。クラスの子どもたちもそれを了解し、温かく受けとめている。年少、年中、年長と各時期との継続した指導に係る個別支援計画による指導を行うとともに、幼児支援教室への参加や就学についての情報を伝え、不安なく就学を迎えられる支援に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 長時間の保育は、次の朝までつなげる援助とし、引き継ぎ内容を徹底することと確実に伝わるよう引き継ぎノートや送迎時にチェック表を全職員が確認するようにしている。長時間の保育には年齢に合わせた遊びを用意し、保育の方法や内容に配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

<p>V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。</p>	<p>第三者評価結果 Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 常勤の看護師を配置しているので、子ども一人ひとりの健康管理、体調の変化についても迅速に対応できる体制がある。年間の保健安全計画はとてもわかりやすく見通しのある内容になっている。予防接種についての情報を保護者に知らせたり、配慮児童表により、対象児に対して日頃から注意しながら見守っている。感染症の疑いがある時には別室で経過を見ながら対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 食育年間計画に基づき、一年間を通し季節ごとに食の大切さを掲示し、食育に取り組んでいる。調理室の窓越しから調理風景が見えたり、同じ材料を使いながら、Aランチ、Bランチの2種類に盛りつけを工夫して選択メニューにする等調理員の力を発揮して子どもたちが楽しく食事ができるよう配慮している。また年長児の当番が毎日給食のポイントを調理員から聞き、各クラスを回って伝えている。地域の人と野菜作りも行い、主体的に食育に興味を持てる環境にある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 調理員が子どもたちと一緒に食事をし、喫食状況を把握している。給食日誌は調理員が献立検討委員会で検討する参考として見直しや改善につなげている。</p>	

改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 毎月の「元気っ子会」で当番の年長児がわかりやすく、風邪予防の注意や歯みがき、上手な手洗いの仕方について話をしたり、看護師が健康管理の指導を行っている。またこれらの取り組み状況の写真を掲示し、家族揃っての健康づくりを促している。	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 (A)・B・C
良い点／工夫されている点： 1ヶ月の献立表について保護者と面談し、除去食の確認をしている。食事時は細心の注意を払い、調理員、担任、所長、他のクラス担任と確認に万全を尽くしている。1年ごとに除去食の検討を行い、主治医の指導の下、対応している。	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 保育所にはめずらしく給食室の入口が自動扉であり、衛生面に配慮された設計になっている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 火、金曜日には、給食のサンプル展示食を行っている。希望者には人気メニューのレシピを渡している。未満児については連絡帳で喫食状況を保護者に伝えている。またランチ風景や食事の様子等の写真や発育期の食事の大切さ、食材の安全性等、食に関する情報等を廊下の壁面に掲示し、家庭と連携し、食生活の充実に努めている。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 各クラスの前には、保育目標と今日の活動が保護者の目に触れる位置に掲示してある。また薬の受け取りは記録し、確実に服薬するよう「薬ありのカード」で確認を取っている。保護者と保育の共通理解を得るよう保育所での生活の様子を伝え、保護者にとって子どもたちの成長が喜びとなるよう支援に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保育参加時、親子で避難訓練をしている。保護者からのアンケートを行事ごとに行い、集計して結果を保護者に伝えている。保護者からの相談は常に対応できるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 職員会議等でマニュアルを読み合い、職員の理解を深め合い、日頃から子どもや保護者の様子の把握に努めている。また26年度から子ども・若者総合支援センターによる相談窓口の一本化が図られ、連携が強化され、情報交換が容易にできるようになった。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 安全管理マニュアル(事故発生時のマニュアル、送迎時の安全管理、園外保育、室内・園庭における日常の安全管理)に基づき、毎月様々な場面を想定し、訓練を行っている。不審者対応の訓練では、合言葉により避難したり、地域の子ども110番の看板の意味やその場所の説明等、日頃からいざという緊急時の対応を繰り返し訓練している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 行事の年間計画表を年度当初に配布したり、土日に行事を実施する等、保護者の参加がしやすいよう対応している。各行事の写真を多く取り入れて、その状況が保護者に伝わるよう工夫している。</p>	

改善できる点／改善方法：	
VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 保育所の行事には積極的に保護者会に手伝ってもらっている。クリスマス会や卒園式のプレゼントを決める時は、所長と意見交換して決めている。	
改善できる点／改善方法：	

VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 近隣の2保育所とは敬老会や対抗リレー等で交流したり、園庭にあるどんぐりの木の実を拾いに来訪する機会がある。幼保小連絡協議会で情報交換したり、行事の情報誌「たより」の交換や中学生による職場体験、小学校教諭の研修の受け入れ、夏休みの小学生との交流遊び等様々な交流の機会がある。	
改善できる点／改善方法：	